

令和5年度 広島文化賞受賞者

団体の部（音楽－オーケストラ）



一般社団法人 コジマ・ムジカ・コレギア
尾道市

1992年、広島交響楽団コンサートマスターの小島秀夫氏が代表として設立。

若い演奏家にオーケストラ共演の経験を与えたいとの思いで「コジマ・ムジカ・コレギア定期演奏会」をこれまで継続的に開催するとともに、幼児から大学生まで幅広く受け入れ、独自の教育システムで豊かな青少年育成に寄与する「ジュニアオーケストラ」活動を継続して推進している。

また、個人の専攻楽器に偏りが生じる地方都市の音楽教育において不足しがちな「室内楽」の講習会を開き、高度なアンサンブル教育の実現を目指す「室内楽セミナー活動」、更に地域に根差し、他の芸術分野との融合や国際交流を目指す音楽祭を開催するなど、全国的にも稀な音楽文化振興・青少年育成活動を長年にわたって継続的に実施している。

広島文化賞 贈呈の状況

回	開催年月日	贈呈数		回	開催年月日	贈呈数		回	開催年月日	贈呈数	
		個人	団体			個人	団体			個人	団体
第1回	昭和55年10月21日	11	4	第19回	平成10年10月28日	2	1	第37回	平成28年11月24日	1	1
第2回	昭和56年10月21日	8	4	第20回	平成11年10月13日	2	—	第38回	平成29年11月30日	2	—
第3回	昭和57年10月14日	5	6	第21回	平成12年10月25日	2	1	第39回	平成30年11月 6日	1	1
第4回	昭和58年10月20日	7	6	第22回	平成13年10月18日	2	1	第40回	令和元年11月 8日	—	—
第5回	昭和59年11月6日	6	6	第23回	平成14年10月24日	2	1	第41回	令和2年12月 4日	1	1
第6回	昭和60年11月13日	5	5	第24回	平成15年11月21日	2	1	第42回	令和3年12月 6日	1	—
第7回	昭和61年12月3日	5	5	第25回	平成16年11月16日	2	1	第43回	令和4年12月 2日	1	1
第8回	昭和62年11月2日	3	4	第26回	平成17年12月3日	2	1	第44回	令和5年12月20日	—	1
第9回	昭和63年11月29日	4	4	第27回	平成18年11月28日	2	1				
第10回	平成元年11月20日	4	3	第28回	平成19年11月26日	2	1				
第11回	平成2年11月14日	3	6	第29回	平成20年11月18日	2	1				
第12回	平成3年10月25日	6	6	第30回	平成21年11月26日	2	1				
第13回	平成4年10月27日	4	2	第31回	平成22年11月22日	2	1				
第14回	平成5年10月22日	3	3	第32回	平成23年11月14日	2	—				
第15回	平成6年10月8日	3	3	第33回	平成25年11月19日	1	1				
第16回	平成7年10月15日	2	1	第34回	平成25年11月25日	—	1				
第17回	平成8年10月19日	2	1	第35回	平成26年11月26日	2	1				
第18回	平成9年10月15日	2	1	第36回	平成27年11月16日	2	1	合計	個人123	団体91	



令和5年度 ひろしま文化功労者表彰受賞者

個人の部（伝統・民俗芸能—吟詠剣詩舞）



おお ちと すい ざん 氏
大 本 翠 山 氏
尾 道 市

尾道市在住、75歳。鉄心流剣詩舞道二代目宗家として大本翠山を襲名、尾道地域をはじめ県内の吟剣詩舞道界の発展と継承をめざし、普及活動や後進の育成に、長きにわたり尽力した。

2022年度 吟剣詩舞大賞功労賞を受賞。

現在、尾道吟詠詩舞道連盟常任顧問、尾道市文化協会会長、広島県吟剣詩舞道総連盟会長、けんみん文化祭ひろしま実行委員会専門委員を務め、地域の文化活動を熱心に牽引している。

ひろしま文化功労者表彰 贈呈の状況

年度	回	開催年月日	個人	団体
平成25年度	第1回	平成25年11月25日	—	
平成26年度	第2回	平成26年11月26日	—	
平成27年度	第3回	平成27年11月16日	3	
平成28年度	第4回	平成28年11月24日	1	
平成29年度	第5回	平成29年11月30日	1	
平成30年度	第6回	平成30年11月6日	2	
令和元年度	第7回	令和元年11月8日	2	
令和2年度	第8回	令和2年12月4日	1	
令和3年度	第9回	令和3年12月6日	1	
令和4年度	第10回	令和4年12月2日	2	
令和5年度	第11回	令和5年12月20日	1	—
合 計			14	0

※令和4年度から団体の部を創設



令和5年度 広島文化新人賞受賞者

個人の部(美術—日本画)



おお ば たか ふみ 氏
大 庭 孝 文 氏
広 島 市

広島市在住、35歳。美術家。広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了、博士後期課程単位取得満期退学。現在、広島市立大学芸術学部助教を務める。

学生時代から個展、グループ展、企画展で作品発表を続け、卒業制作は「広島赤十字・原爆病院賞」を受賞し、買い上げとなった。卒業後は「新進芸術家育成交流作品展」優秀作品賞など、若手日本画家を対象とした賞を中心に数々の賞を受賞。

伝統的な日本画材料とアクリル絵の具等現代的な素材を組み合わせた、繊細かつ現代的な独自の作風を追求。制作活動は旺盛であり、作品発表の場を香港、ドイツなど海外にも広げている。

また、大学教員として県内美術館などで公開講座を企画実施し、地域の文化芸術の発展に寄与している。

個人の部(メディア芸術—インタラクティブアート)



かさ い み さと 氏
笠 井 美 里 氏
広 島 市

広島市在住、27歳。比治山大学短期大学部専攻科美術専攻卒業。現在、映像作家、ビジュアル・ジョッキーとして制作活動を行っている。

インタラクティブ、映像など多面的な形態をもつ表現を得意とし、個展・グループ展での作品発表のほか、安佐南区民文化センターとの共催グループ「シアターレトロマーケット」でプロジェクションマッピングを用いた「ひばくポンプ」の舞台演出や、獅子舞が舞う動きをセンサーで認識して舞踏と映像との連動を試みた、横川を舞台にした作品「サイバー獅子舞DJ」など、最先端のデジタル技術と土着文化を融合させ、地域の文化に深く入り込んだ参加型アート作品を制作。

横川でのギャラリー運営、プロジェクションマッピングのワークショップといった地域社会におけるアート普及活動にも積極的に取り組んでいる。

2017年「総務省地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞、「第5回新県美展」映像部門優秀賞などを受賞。

個人の部(音楽—声楽)



こ ばやし よし こ 氏
広 島 市

広島市在住、45歳。エリザベト音楽大学大学院修士課程修了。現在、エリザベト音楽大学准教授。広島シティーオペラ推進委員会委員も務める。

広島を拠点に、オペラ、コンサートへの出演のほか、様々な演奏家との共演など、県内外で精力的な演奏活動を行っている。

また、社会貢献として、東日本大震災復興チャリティークラシックコンサートをはじめ、各種チャリティーコンサートのほか、地元合唱団、県内小・中・高等学校で演奏活動を行っている。

「第10回大阪国際音楽コンクール」グランプリ、「日唄文化協会フレッシュコンサート」最優秀賞など、数々の賞を受賞。

個人の部(音楽—インストゥルメンタルポピュラーミュージック)



ち し ま き と し 氏
千 嶋 里 志 氏
広 島 市

広島市在住、41歳。国立音楽大学応用演奏学科卒業。広島文化学園大学客員教授。サックス&エレクトーンユニット「大瀬戸千嶋」のエレクトーン奏者。

「大瀬戸千嶋」として、ひろしまフラワーフェスティバルに2006年から連続出演、FMちゅーピーのパーソナリティーを10年以上務めるほか、全国ツアーを開催、中国・タイなどで海外公演も行う。

大学では通常のレッスンに加え、「ポピュラー・セッション」と称する授業を担当。クラシックからポピュラーまで幅広いジャンルでの音楽活動を通じて、新しい形の音楽セッションを探究し、その実現を目指す。

これまでに作業所と協力して取り組むコンサートや地元企業と協力してチャリティーコンサートを開催。タイでは子どもたちに慈善公演を行い、音楽活動を通じて地域貢献と国際的な社会貢献に長年携わっている。

個人の部(メディア芸術—アニメーション)



にし ほん みる さ
西 原 美 彩 氏
広 島 市

広島市在住、32歳。広島市立大学大学院芸術学研究科修了。現在、広島市立大学芸術学部非常勤助教。日本アニメーション協会会員。フリーランスとして制作活動を行っている。

主に短編アニメーションを制作し、大学卒業制作「男と青虫」をはじめ、「二十億光年のくしゃみ」、「そそろ」、「鬼、布と塩」を制作。いずれも線描ならではの表現「メタモルフォーゼ」を用いた作品で、動きに独特の面白さがある。

特に「鬼、布と塩」は、独自の視点から広島県の伝統文化（神楽、藻塩）と現代のアニメーション表現を結びつけることで、新たな魅力を生み出しており、国内外の映画祭などで高く評価され、多数の受賞歴をもつ。

2014年「男と青虫」が第2回新県美展優秀賞受賞。

2022年「鬼、布と塩」が第9回新千歳空港国際アニメーション映画祭北洋銀行賞受賞、2023年には第18回吉祥寺アニメーション映画祭ジブリ美術館賞受賞など、多数受賞。

個人の部(地域文化—郷土史・誌研究)



の かも こう じ
野 毛 幸 司 氏
福 山 市

福山市在住、39歳。小・中学生時代から福山城に関心を持つ。現在も会社員のかたわら、福山市文化財協会、福山城博物館友の会など、いくつもの文化団体に参加し、独自に研究活動を行う。

福山城に関する資料を収集し、「福山城博物館友の会だより」(発行：福山城博物館友の会)、「文化財ふくやま」(発行：福山市文化財協会)へ定期的に論文を寄稿。史跡福山城跡サイン整備作業部会に参画した2022年には、櫓の名称がこの1世紀誤読されていたこと及びその経緯を解明した実績がある。

また、福山城ボランティアガイドや講演会を行い、福山城の魅力を広く紹介している。

講演会やボランティアガイドを通じた地域活動や福山城の研究・発表を通じて、地元福山の歴史文化の発展に貢献している。

広島文化新人賞 贈呈の状況

回	開催年月日	贈呈数	
		個人	団体
第1回	令和 2年12月 4日	3	—
第2回	令和 3年12月 6日	3	—
第3回	令和 4年12月 2日	4	—
第4回	令和 5年12月20日	6	—
合計		16	0



公益財団法人ひろしま文化振興財団